

令和2年度 副校長・教頭のふたりごと1

4月に厚木西高校（インクルーシブ教育実践推進校パイロット校）から転勤しました副校長の竹本弥生です。新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、着任式、始業式も中止、入学式は生徒と教職員のみで行うなど、生徒、保護者のみなさまにご挨拶することなく橋本高校での勤務がスタートしました。ご挨拶が遅れて申し訳ありません。



この場を借りて少しだけ自己紹介をさせていただきます。

生まれも育ちも栃木県宇都宮市（餃子の街、大谷石で有名？）です。地元の大学に進学せず、あこがれの東京と言っても八王子にある大学に進学し4年間を過ごしました。大学卒業後、故郷の宇都宮に戻ろうかとも思いましたが、東京の世田谷区にある私立女子高校に採用され3年間の教員生活を送りました。22歳で担任となり右任左任、生徒の髪型も2種類、「三つ編み」もしくは「おかっぱ」に決められているような校則の厳しい高校でした。

なぜ教員になったのか？それは「世界の地理」「旅行」が好きだったからです。教員になったら、「夏休みに旅行ができる」と思っていたのですが、実際は、弓道部の顧問となり、旅行にはなかなか行けませんでした。

結婚後、私立高校を辞め神奈川県内の教員となりました。初任校は相模田名高校（9年）、その後、相模原高校（3年）、相模原総合高校（1年）、座間養護学校（6年）、綾瀬西高校（3年）、綾瀬西高校教頭（2年）、相模原中央支援学校教頭（1年）、厚木西高校副校長（3年）、そして橋本高校に転勤してきました。

趣味は、温泉巡り、大学時代は温泉同好会に入っていました。夏休みは栃木県の川治温泉で旅館の仲居さんをアルバイトでしていました。今でもお膳は6膳運べると思います。

みなさんとの出会いを大切に、そして、障害のあるなしにかかわらず生徒一人ひとりが充実した高校生活を送ることができるような学校づくりができればと考えています。

新型コロナウイルスのまん延防止により、みなさんの生活が大きく変わったと思います。

では、変わったことにより、何が大切であると感じましたか？少しだけ立ち止まり考えてみてください。

生徒、保護者、地域の皆様と、橋本高校で一日一日を楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

